

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 昭和真空  
 コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 田中 彰一  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 JQ

TEL 042-764-0385

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,025	—	△20	—	△30	—	△48	—
20年3月期第1四半期	1,487	△45.4	△194	—	△200	—	△127	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△7.87	—
20年3月期第1四半期	△19.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	14,494	—	7,520	—	51.9	1,213.28	—	
20年3月期	15,023	—	7,703	—	51.3	1,242.72	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,520百万円 20年3月期 7,703百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	6,120	24.7	257	206.0	248	416.7	147	2,840.0	23.71
通期	12,315	2.6	432	△39.4	417	△29.8	243	△23.8	39.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

- 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 6,499,000株 20年3月期 6,499,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 300,130株 20年3月期 300,097株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 6,198,892株 20年3月期第1四半期 6,398,703株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年5月16日に公表いたしました業績予想は、本日平成20年8月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しておりますので参照ください。
- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の運用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界経済の減速懸念や原油・原材料価格の高騰、円高などにより、企業収益は押し下げられ、個人消費についても生活必需品の値上げが相次いだことなどから、先行きに不透明感が強まる傾向で推移しました。

当社グループをとりまく経営環境を見ると、水晶デバイス業界は携帯電話の順調な伸びとともに水晶デバイス需要も引き続き高水準を維持しておりますが、一方で、水晶デバイス価格の急落の影響を受け、設備投資を控える動きが出てきました。また、電子部品業界では、太陽光発電関連のビジネスが世界的な盛り上がりを見せており、国内外を問わず、各メーカーが競って設備投資を行ってまいりました。

こうした環境の中、当社グループは、水晶デバイス業界を中心に積極的な受注・販売活動を行ってまいりました。また、電子部品業界では、携帯電話部品関連の他、太陽光発電や医療用分野の受注・販売活動も積極的に行ってまいりました。

一方、損益面では、売上の絶対量が少なく固定費をカバーできませんでした。また、電子部品装置において、開発要素の高い案件があり、利益を押し下げる要因となりました。さらに、会計基準改正に伴う期首のたな卸資産に対する評価損の計上も大きなマイナス要因となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、受注高33億21百万円、売上高20億25百万円となりました。

損益につきましては、経常損失30百万円、四半期純損失48百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間の品目別の状況は以下のとおりです。

#### (水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、携帯電話を中心に、水晶デバイスの高水準な需要が継続しており、当社グループとしても、積極的に受注活動を展開し、受注に関しては、計画を上回る数字となりました。一方で水晶デバイス価格の急落の影響を受け、水晶デバイスメーカー各社が設備投資を控える動きや、装置価格の値下げを要請する動きも始まりました。

売上に関しては、6月売上予定分が、顧客からの納期変更などの理由により第2四半期へずれ込んだものが数件ありました。

この結果、受注高は19億54百万円、売上高は11億58百万円となりました。

#### (光学装置)

光学業界では、デジタルカメラ、携帯電話用小型カメラ、DVDなどを中心に需要が堅調に推移しており、設備投資も概ね順調であります。こうした中、当社グループは、高性能新型装置を市場に投入し、積極的に営業展開を図ってまいりました。

この結果、受注高は4億80百万円、売上高は1億49百万円となりました。

#### (電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、携帯電話用電子部品は引き続き好調で、デジタルカメラ、薄型テレビなどのデジタル家電向け電子部品も堅調でした。しかし、円高、原油高などの影響により、各メーカーとも設備投資には慎重でした。一方で太陽光発電関連のビジネスが世界中で盛り上がりを見せ、各関連メーカーの設備投資も活発に行われ、当社グループも、積極的に受注・販売活動を行ってまいりました。

また、顧客からの納期変更により売上計上が第2四半期へずれ込んだ案件がありました。

この結果、受注高は4億84百万円、売上高は3億16百万円となりました。

#### (部品販売・修理その他)

部品販売・修理につきましては、西日本のアフターサービスの強化のため、昨年秋に新拠点を開設し、より身近なすばやいサポート体制で、顧客ニーズに細かく対応してまいりました。また、アジアを中心に海外に生産拠点を持つ顧客に対しては上海子会社が対応することにより、当社グループとして、迅速できめ細かなアフターサービスを提供しました。

この結果、売上高は4億円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、144億94百万円となり、前連結会計年度末比5億29百万円の減少となりました。

資産は受取手形及び売掛金の減少等により5億29百万円減少し、負債は支払手形及び買掛金の減少等により3億47百万円減少いたしました。また、純資産は利益剰余金の減少等により1億82百万円減少いたしました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失73百万円、たな卸資産の増加9億81百万円、仕入債務の減少2億43百万円、法人税等の支払3億3百万円、配当金の支払71百万円などのマイナス要因があったものの、売上債権の減少17億11百万円、減価償却費66百万円、賞与引当金の増加83百万円などのプラス要因があったことにより、前連結会計年度末に比べ1億71百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には25億2百万円になりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因はつぎのとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金収入は3億円となりました。これは税金等調整前四半期純損失73百万円、たな卸資産の増加9億81百万円、仕入債務の減少2億43百万円などの減少はあるものの、売上債権の減少17億11百万円などによる増加があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は7百万円となりました。これは主に定期預金の預入6百万円、有形固定資産の取得2百万円などの支出があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は1億8百万円となりました。これは主に長期借入金の返済36百万円、配当金の支払71百万円などの支出があったことによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期における業績の進捗を勘案し、業績予測の見直しを行った結果、平成20年5月16日付当社「平成20年3月期 決算短信」にて発表いたしました平成21年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しております。詳細は本日別途開示する、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業損失、経常損失は9,349千円増加し、税金等調整前四半期純利益は52,878千円増加しております。

③当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、これによる損益へ与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,217,684	2,043,683
受取手形及び売掛金	2,460,368	4,171,725
有価証券	442,396	444,935
商品及び製品	11,031	9,334
仕掛品	3,037,117	2,004,353
原材料及び貯蔵品	347,010	403,560
繰延税金資産	309,661	272,474
その他	97,647	24,916
貸倒引当金	△1,236	△2,303
流動資産合計	8,921,682	9,372,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,346,722	1,387,538
機械装置及び運搬具（純額）	229,121	261,666
土地	3,559,977	3,559,977
その他（純額）	44,753	47,993
有形固定資産合計	5,180,574	5,257,175
無形固定資産		
のれん	22,500	24,231
その他	35,422	38,429
無形固定資産合計	57,922	62,660
投資その他の資産		
投資有価証券	166,545	173,337
繰延税金資産	100,641	88,387
その他	213,243	216,691
貸倒引当金	△146,513	△147,248
投資その他の資産合計	333,916	331,167
固定資産合計	5,572,413	5,651,004
資産合計	14,494,095	15,023,684

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,469,532	4,717,493
1年内返済予定の長期借入金	106,662	131,160
未払法人税等	24,407	314,879
賞与引当金	268,611	184,716
役員賞与引当金	—	27,800
製品保証引当金	128,600	123,300
受注損失引当金	35,400	45,000
その他	426,881	267,313
流動負債	5,460,094	5,811,662
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	44,300	56,750
退職給付引当金	328,255	311,286
その他	140,500	140,500
固定負債合計	1,513,055	1,508,536
負債合計	6,973,150	7,320,198
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	2,798,713	2,940,462
自己株式	△258,075	△258,050
株主資本合計	7,471,717	7,613,492
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,151	62,399
為替換算調整勘定	△6,924	27,593
評価・換算差額等合計	49,226	89,992
純資産合計	7,520,944	7,703,485
負債純資産合計	14,494,095	15,023,684

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	2,025,783
売上原価	1,580,925
売上総利益	444,858
販売費及び一般管理費	465,487
営業損失(△)	△20,629
営業外収益	
受取利息	1,529
受取配当金	228
受取賃貸料	5,078
作業屑等売却益	2,789
その他	1,807
営業外収益合計	11,433
営業外費用	
支払利息	4,715
売上債権売却損	8,407
売上割引	5,829
その他	2,402
営業外費用合計	21,354
経常損失(△)	△30,550
特別利益	
貸倒引当金戻入額	735
特別利益合計	735
特別損失	
たな卸資産評価損	43,528
固定資産除却損	70
特別損失合計	43,598
税金等調整前四半期純損失(△)	△73,414
法人税、住民税及び事業税	20,521
法人税等調整額	△45,170
法人税等合計	△24,648
四半期純損失(△)	△48,766

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△73,414
減価償却費	66,011
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,621
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,969
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	83,895
製品保証引当金の増減額(△は減少)	5,300
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△9,600
受取利息及び受取配当金	△1,758
支払利息	13,122
売上債権の増減額(△は増加)	1,711,346
たな卸資産の増減額(△は増加)	△981,929
未収消費税等の増減額(△は増加)	△32,515
仕入債務の増減額(△は減少)	△243,763
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,502
その他	98,624
小計	611,364
利息及び配当金の受取額	1,723
利息の支払額	△9,375
法人税等の支払額	△303,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,564
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△6,340
有形固定資産の取得による支出	△2,267
その他	863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,744
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△36,948
自己株式の取得による支出	△25
配当金の支払額	△71,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,027
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	171,848
現金及び現金同等物の期首残高	2,330,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,502,713

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

当社グループは真空応用装置関連製品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する水晶デバイス製造装置、光学用部品製造装置、電子部品製造装置等の開発、製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	中国	台湾	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	561,090	138,069	280,617	979,778
II 連結売上高(千円)	—	—	—	2,025,783
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.7	6.8	13.9	48.4

(注) 1. 国又は地域は、国別に区分しております。

2. その他に属する主な国

韓国、フィリピン、ニュージーランド、シンガポール、タイ、マレーシア、香港等であります。

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,487,542
II 売上原価	1,278,293
売上総利益	209,248
III 販売費及び一般管理費	404,202
営業損失(△)	△194,953
IV 営業外収益	7,076
受取利息及び配当金	658
その他	6,418
V 営業外費用	12,787
支払利息	8,299
手形売却損	2,101
その他	2,386
経常損失(△)	△200,664
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純損失 (△)	△200,664
税金費用	△72,819
四半期純損失(△)	△127,845

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△200,664
減価償却費	62,995
貸倒引当金の増加額	1
退職給付引当金の増加額	6,692
賞与引当金の増加額	77,548
製品保証引当金の増加額	6,400
長期未払金の減少額	△12,600
受取利息及び受取配当金	△658
支払利息	8,299
売上債権の減少額	737,595
たな卸資産の増加額	△805,275
仕入債務の増加額	433,642
未収還付消費税等の増加額	△27,707
未払消費税等の減少額	△71,413
役員賞与の支払額	△27,300
その他	△132,586
小計	54,968
利息及び配当金の受取額	648
利息の支払額	△4,599
法人税等の支払額	△192,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	△141,551

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金等の預入による支出	△6,302
有形固定資産の売却による収入	5,494
有形固定資産の取得による支出	△4,182
その他	560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,429
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	15,000
長期借入金の返済による支出	△36,948
株式の発行による収入	253
自己株式取得による支出	△259,290
配当金の支払額	△61,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342,522
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	268
V 現金及び現金同等物の減少額	△488,235
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,088,625
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,600,389

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

当社グループは真空応用装置関連製品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する水晶デバイス製造装置、光学用部品製造装置、電子部品製造装置等の開発、製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	中国	台湾	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	265,389	31,815	194,010	491,215
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	1,487,542
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	17.8	2.1	13.0	33.0

(注) 1. 国又は地域は、国別に区分しております。

2. その他に属する主な国

マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピン、韓国、シンガポール等であります。

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。